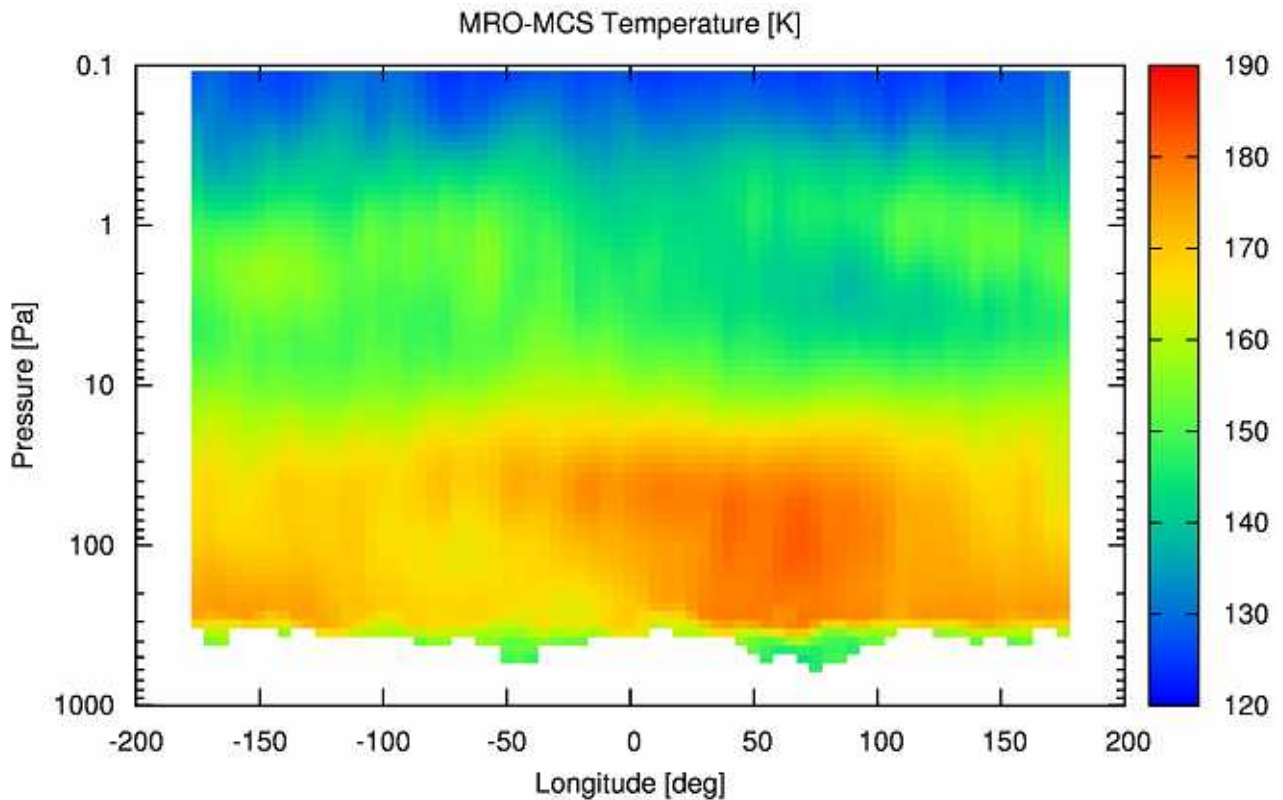


地球および惑星大気科学

環境科学コース 野口 克行



米国の火星探査機 MRO 搭載赤外センサ MCS で観測された気温の経度分布

近年、米国や欧州が相次いで太陽系内の惑星や小天体に探査機を送り込み、詳細な観測データを得つつある。日本でも、2016年から金星探査機「あかつき」が観測を開始すると共に、火星にも再び探査機を送り込もうという動きが本格化している。本研究室では、地球観測衛星や惑星探査機による観測データと、大気大循環モデルなどの数値シミュレーションデータを組み合わせながら、地球をはじめ火星や金星などの惑星の大気を研究対象としている。研究成果を元に、日本独自の惑星探査計画への貢献も目指している。

キーワード：惑星大気、火星、金星